

にっこり笑顔

発行：校長 菅 昌徳



創立50周年式典 「未来に向かって」の合い言葉で

去る10月3日（日）、本校の創立50周年式典の挙行いたしました。大学の中部講堂において卒業生をはじめ、多くの関係者の方々をお迎えして挙行することを前年度から準備しておりましたが、この夏の新型コロナ感染症の更なる感染拡大により願い叶わぬ事態となってしまいました。これまで準備をしていただいた関係者の方々に対して「申し訳ありません」とともに「どうか御理解ください」という思いで計画の変更を決定させていただきました。御理解をいただき、御快諾をいただきましたことに感謝申し上げます。

式典当日は、本校の50周年を祝ってくれるかのように、雲ひとつない青空に秋の爽やかな風を感じる好天に恵まれました。オープニングセレモニーでは、学校の歴史や卒業生の学習活動の映像、同窓会会長のお祝いの言葉に続き、高等部生徒が学校に対する思いと期待をそれぞれに映像で発表しました。来賓としてお迎えした大学長様、教育学部長様、事務部長様そして保護者の方々から「感動しました」「すばらしかったです」「みんなの思いがよく分かりました」などの言葉をいただき、今日を迎えるまでに準備を進めてくれた教職員、児童生徒に感謝の思いが沸き立ちました。併せて、映像が流れる中、会場からの「へえ～」「お～っ」「そうそう」などの声を聞き、あらためて長崎大学教育学部附属特別支援学校の歴史の深さと重みを感じました。また、ここに勤務した者として伝統を大切に、これからもつなげることが重大な責務であるとも感じました。



式典では、大学長様から「現代社会を柔軟に生きる子どもたちの力を最大限に伸ばし、自己実現ができるための教育に向け、格段の努力を継続してほしい」との言葉をいただきました。校長として身の引き締まる思いです。

児童生徒代表として高等部生徒会長からは、今、ここで学んでいる者として「夢に向かって生きる喜びを見付け、生きる力を身に付けることを誓います」と熱い思いを伝えてくれました。



「未来に向かって」は、ここにいる教職員、児童生徒をはじめ保護者や関係者の皆様方とこれからの新しい歴史を積み重ねるための合い言葉です。これからこの言葉を胸に、子どもたちが日々の学校生活を「楽しい」「もっとやりたい」との思いをもって笑顔いっぱい学習に向かうように教職員が笑顔を絶やさず、共に学び合うという思いで指導の充実を図っていくことが大事だと感じています。

さあ～皆さん

「未来に向かって」 今を大切に、これからの歴史を創っていきましょう！！